



学校法人吉見学園

子育て支援だより



寒さが一段と増すこの時期ですが、子どもたちは園庭で元気に走り回って遊んでいます。皆さんも寒さや病気に負けず今月も元気いっぱい子育て支援クラスを楽しみましょう。今月は節分がありますね。ご家庭でお面を付けたりしてイベントも楽しんでみましょう。

場所:子育て支援室 対象:0~2歳児の親子

4日 園庭開放のみ(幼兒部行事前のため)

18日 読み聞かせ 25日 身体測定・お誕生日会

受付:9:30~天王寺幼稚園 10:30 前後に子育て支援室に移動

節分

節分とは、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味を込め、悪いことを追い出す日です。邪気払いとして「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをしたり、恵方巻を食べたりします。節分という言葉には、「季節を分ける」と言う意味があるそうです。昔の日本では、春は1年のはじまりとされ、特に大切にされたようです。そのため、春が始まる日、つまり冬と春を分ける日だけを節分と呼ぶようになりました。ちなみに暦の上で春が始まる日を「立春」と呼びます。悪いもの（鬼）を追い払い、良いもの（福）を呼ぶために炒った豆をまきます。そして豆を自分の年の数だけ食べると体が丈夫になって病気になりにくいといわれています。

子育て支援クラス・
園庭開放の予約はこちちら↓



子育て通信

HP

Instagram



囁語・かたこと～子どもたちが伝えたいこと～

大人の柔らかな言葉の響きは子どもにとって心地良いです。優しくゆっくりと話し掛け、子どもが声や全身を使って表現する思いを受け止め、丁寧に応答することで安心感へと繋がります。

言葉の発達の目安

☆目で訴える時期☆

～伝えたい気持ちを育めるように～
寝ている子どもの目線に合わせ「何を見ているのかな？」と声を掛けながら見てみましょう。感じたことを言葉で伝え、美しさに感動する気持ちの芽生えを育んでいきます。

2~3か月頃

- 機謙の良いときに声を出す
- 不快な気持ちを泣いて訴える

4~7か月頃

- 囁語が盛んに出来るようになる
- あやすと微笑み返すようになる

☆はっきりした言葉に出来ない時期☆

～伝える楽しさを感じられるように～
はっきりした言葉に出来なくても何か伝えてくることがあります。分からないときでも「うんうん」頷いたり「そうだね」と応えたりしましょう。受け止めてもらえた嬉しさや満足感が、言葉でやり取りしたいという思いに繋がります。

8~11か月頃

- 興味のあるものを指差して示すようになる
- 一語文を話すようになる

1歳頃

- 要求や意思を声やしぐさで伝えようとする
- マンマ、ネンネなど生活に密着した言葉を使おうとする

☆しぐさで言葉を補う時期☆

～伝えたい気持ちを支える～

1歳になった子どもが「かい、かい」と人差し指を立てて訴えます。何かを言っているかわからないときは身近な周囲の人聞いてみるのも良いです。しぐさや言葉で要求を伝えようとする子どもの育ちを支えていきましょう。

2歳頃

- 簡単な挨拶や言葉のやり取りをしようとする
- 三語文が出来始める

☆言葉で伝えたい時期☆

～伝えたい気持ちを育めるように～
2歳頃になると見たことや経験したことを伝えたいという気持ちが高まってきます。知っている言葉を組み合わせて表現しようとします。話してくれた内容を繰り返したり質問したりして応答し、ちゃんと伝わっていることを伝えましょう。

1歳6か月頃

- 簡単な言葉の指示を聞いて行動しようとする
- 二語文で話すようになる

☆幼児語と繰り返し言葉の時期☆

～正しい発音で話せるように～
身近なものに興味を持ち、知っているものを言葉で表現することが楽しくなる時期。言葉の発達を見通し、繰り返し言葉以外は正しい発音で話すようにしましょう。

一人ひとりの発達を大切に！